



## show コマンド

---

この章では、Cisco NX-OS、ホットスタンバイ ルータ プロトコル (HSRP) の **show** コマンドについて説明します。

# show hsrp

Hot Standby Router Protocol (HSRP; ホットスタンバイ ルータ プロトコル) グループごとの HSRP 情報を表示するには、**show hsrp** コマンドを使用します。

```
show hsrp [interface {ethernet slot/port | port-channel number | vlan vlan-id}] [group
group-number] [active | init | listen | standby] [all] [brief] [detail] [ipv4]
```

## 構文の説明

<b>interface</b>	(任意) HSRP 情報を表示するためのインターフェイスを指定します。
<b>ethernet slot/port</b>	イーサネット インターフェイス、およびスロット番号とポート番号を指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
<b>port-channel number</b>	EtherChannel インターフェイスおよび EtherChannel 番号を指定します。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。
<b>vlan vlan-id</b>	VLAN インターフェイスを指定します。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。
<b>group group-number</b>	(任意) 情報を表示するインターフェイスの HSRP グループ番号を指定します。有効な範囲は 0 ~ 4095 です。
<b>active</b>	(任意) Active ステートである HSRP グループを表示します。
<b>init</b>	(任意) Initialization ステートである HSRP グループを表示します。
<b>listen</b>	(任意) Listen ステートである HSRP グループを表示します。
<b>standby</b>	(任意) Standby ステートである HSRP グループを表示します。
<b>all</b>	(任意) すべての HSRP グループを表示します。
<b>brief</b>	(任意) 1 行の出力で各仮想ゲートウェイまたは仮想フォワーダの要約を示します。
<b>detail</b>	(任意) HSRP グループに関する詳細情報を表示します。
<b>ipv4</b>	(任意) HSRP IPv4 グループを表示します。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

HSRP グループに関する情報を表示するには、**show hsrp** コマンドを使用します。**brief** キーワードは、各仮想ゲートウェイまたは仮想フォワーダに関する情報を 1 行で表示します。

認証を設定していない場合は、**show hsrp** コマンドにより次の文字列が表示されます。

```
Authentication text "cisco"
```

これは、[RFC 2281](#) で定義されている HSRP のデフォルトの動作です。

```
If no authentication data is configured, the RECOMMENDED default
value is 0x63 0x69 0x73 0x63 0x6F 0x00 0x00 0x00.
```

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。



(注)

レイヤ 3 インターフェイスをイネーブルにするため、LAN Base Services ライセンスがスイッチにインストールされていることを確認します。

## 例

次に、HSRP に関するデフォルト情報を表示する例を示します。

```
switch# show hsrp
Vlan1 - Group 1 (HSRP-V1) (IPv4)
  Local state is Active, priority 150 (Cfged 150), may preempt
  Forwarding threshold(for vPC), lower: 1 upper: 150
  Preemption Delay (Seconds) Reload:300
  Hello time 3 sec, holdtime 10 sec
  Next hello sent in 0.793000 sec(s)
  Virtual IP address is 10.1.1.3 (Cfged)
  Active router is local
  Standby router is unknown
  Authentication text "cisco"
  Virtual mac address is 0000.0c07.ac01 (Default MAC)
  17 state changes, last state change 1w0d
  IP redundancy name is hsrp-Vlan1-1 (default)
...
```



(注)

前述の例の認証文字列は、インターフェイスに認証が設定されていないことを表します。

次に、HSRP 情報の簡単なサマリーを表示する例を示します。

```
switch# show hsrp brief
          P indicates configured to preempt.
          |
Interface  Grp Prio P State   Active addr   Standby addr   Group addr
Vlan1      1  150 P Active local         unknown       10.1.1.3      (conf)
Vlan2      2  150 P Active local         unknown       10.1.2.3      (conf)
...
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>feature hsrp</code>	HSRP 機能をイネーブルにします。

# show hsrp delay

Hot Standby Router Protocol (HSRP; ホットスタンバイ ルータ プロトコル) グループの遅延情報を表示するには、**show hsrp delay** コマンドを使用します。

```
show hsrp delay [interface {ethernet slot/port | port-channel number[.sub_if_number] |
                 vlan vlan_id}] [group group-number] [all] [brief]
```

## 構文の説明

<b>interface</b>	(任意) HSRP 情報を表示するインターフェイス タイプおよび番号を指定します。
<b>ethernet slot/port</b>	(任意) イーサネット インターフェイスを指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
<b>port-channel number</b>	(任意) EtherChannel インターフェイスを指定します。EtherChannel 番号の範囲は 1 ~ 4096 です。
<b>.sub_if-number</b>	(任意) サブインターフェイス番号。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>vlan vlan-id</b>	(任意) VLAN インターフェイスを指定します。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。
<b>group group-number</b>	(任意) 情報を表示するインターフェイスの HSRP グループ番号を指定します。有効な範囲は 0 ~ 4095 です。
<b>all</b>	(任意) すべての HSRP 情報を指定します。
<b>brief</b>	(任意) 簡単な HSRP 情報を指定します。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。



(注)

レイヤ 3 インターフェイスをイネーブルにするため、LAN Base Services ライセンスがスイッチにインストールされていることを確認します。

## 例

次に、HSRP の遅延情報を表示する例を示します。

```
switch# show hsrp delay
-----
Interface      Minimum  Reload
-----
Eth1/5         30      0
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>delay minimum</code>	HSRP グループの遅延情報を設定します。
<code>feature hsrp</code>	HSRP 機能をイネーブルにします。
<code>hsrp delay</code>	HSRP グループの遅延情報を設定します。

# show hsrp summary

HSRP グループごとの HSRP サマリー情報を表示するには、**show hsrp summary** コマンドを使用します。

## show hsrp summary

### 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

任意のコマンド モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。



(注)

レイヤ 3 インターフェイスをイネーブルにするため、LAN Base Services ライセンスがスイッチにインストールされていることを確認します。

### 例

次に、HSRP 情報のサマリーを表示する例を示します。

```
switch# show hsrp summary

HSRP Summary:

Extended-hold (NSF) disabled
Global HSRP-BFD disabled

Total Groups: 1
  Version::   V1-IPV4: 1       V2-IPV4: 0       V2-IPV6: 0
             State::   Active: 0       Standby: 0       Listen: 0
             State::   V6-Active: 0     V6-Standby: 0     V6-Listen: 0

Total HSRP Enabled interfaces: 1

Total Packets:
  Tx - Pass: 0       Fail: 0
  Rx - Good: 0

Packet for unknown groups: 0

Total MTS: Rx: 25

switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>feature hsrp</code>	HSRP 機能をイネーブルにします。
<code>hsrp</code>	HSRP グループを設定します。

